太陽熱利用ガス温水システム
取扱説明書 保証書付

■システム名：UF-4203

	品名	機器コード
貯湯ユニット	TF-C11A	10-049-28-11381
集熱器（2m² 2枚）	SCQ-201	60-049-29-10752

■システム名：UF-6203

	品名	機器コード
貯湯ユニット	TF-C11A	10-049-28-11381
集熱器（2m² 3枚）	SCQ-201	60-049-29-10752

■システム名：UF-4203H

	品名	機器コード
貯湯ユニット	TF-C11A	10-049-28-11381
集熱器（1m² 4枚）	SCQ-101	60-049-29-10751

もくじ

必ずお守りください(安全上の注意) …… 2
システム図 …… 5

お湯の温度はこのようになります(しくみ) …… 6
リモコン表示について …… 7
上手に使ってさらに省エネ …… 8

凍結による破損を予防する …… 9
日常の点検・お手入れのしかた …… 11
災害時などに貯湯タンクから水(お湯)を取り出す …13

故障・異常かな?と思ったら …… 14
アフターサービスについて …… 16

主な仕様 …… 17
保証書 …… 裏表紙

このたびは太陽熱利用ガス温水システムをお求めいただきまして、まことにありがとうございます。

＊この取扱説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。
なお、この取扱説明書は太陽熱利用ガス温水システムに関する取扱説明書です。給湯機器の取扱説明書も併せてお読みください。

＊保証書(裏表紙)は必ずお買い上げ日・販売店名などの記入を確かめてください。

＊この取扱説明書(保証書付)は給湯機器の取扱説明書と併せて、いつでもご覧になれるところに保管してください。

TOKYO GAS

SBA8687

SBA8687

必ずお守りください(安全上の注意)-1

お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容を示しています。

⚠警告

地震、火災などの緊急の場合は、次の手順に従う

必ずおこなう

1. 電源プラグを抜く
   ぬれた手でさわらない
2. 給水元栓を閉める

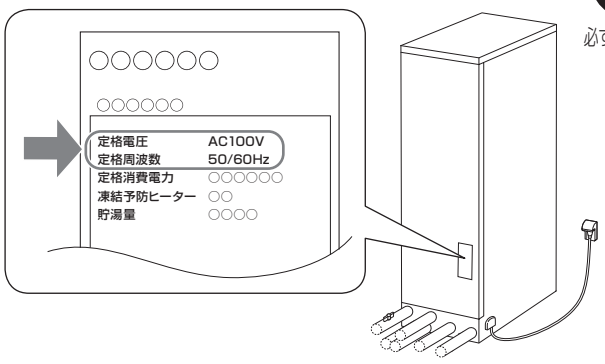
使用中に異常な臭気、異常音、異常な温度を感じた場合は、ただちに使用を中止する

使用中に異常があった場合は、「故障・異常かな？と思ったら」(☞P14～15)に従い処置をする

上記の処置をしても直らない場合は、使用を中止し、販売店に連絡する

必ず銘板に表示の電源で使用する

必ずおこなう



表示の電源が一致しないと、機器が故障する場合があります。
特に転居した場合は、必ず電源の種類が一致しているかどうか確認してください。わからない場合は、販売店または、もよりの東京ガスに連絡してください。

お湯の使用時は、手で湯温を確認してから使用する

高温注意

お湯の使い初めはぬるくても、急に熱いお湯が出る場合もありますので、注意してください。
やけど予防のため。

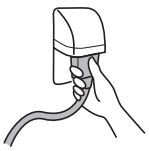
電源プラグはぬれた手でさわらない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

感電注意

電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不充分だと、
感電や火災の原因になります。

必ずおこなう

電源プラグのホコリは定期的に取る

必ずおこなう

ホコリがたまると、火災の原因になります。
電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

電源コード、電源プラグの破損・加工をしない
束ねたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、物を載せたり、衝撃を与えたりして無理な力を加えない。傷つけない。加工をしない。

禁止

感電、ショート、火災の原因になります。

お客さまご自身では絶対に分解したり、修理・改造はおこなわない

分解禁止

思わぬ事故や故障の原因になります。

燃えやすい物をまわりに置かない（灯油、ガスボンベなど）

禁止

爆発や発火の原因になります。

架台や集熱器を固定しているネジやワイヤーにゆるみや外れがないか、ときどき確認する

必ずおこなう

台風シーズンや強風が予想されるときや地震の後は、集熱器の固定状態を確認してください。
地上から確認できない場合は、販売店または、もよりの東京ガスに依頼してください。

貯湯ユニットのアンカーボルトがゆるんでないか、ときどき確認する

機器の転倒の予防のため。

集熱器上に積雪がある場合は、除雪する 除雪時は集熱器をこわさないよう注意する

必ずおこなう

雪が積もると、集熱器が破損したり、ステンレス線が切れたりすることがあります。
地上から確認できない場合は、販売店または、もよりの東京ガスに依頼してください。

【集熱器が傾斜のある高い屋根の上などに設置されている場合】 お客さまご自身で屋根に上って、点検・お手入れ・除雪などをおこなわない

禁止

屋根からの転落事故につながるおそれがあります。必ず販売店にご連絡ください。

使用しない集熱器を放置しない

禁止

老朽化などにより、ご使用にならなくなった集熱器は、販売店に依頼して屋根から降ろしてください。放置していると、ワイヤー固定の場合などではワイヤーの腐食などにより落下する原因になります。

まずはじめに

⚠注意

集熱器と貯湯ユニットは、この取扱説明書に記載している組み合わせで使用する

必ずおこなう

それ以外の製品と組み合わせると、思わぬ事故の原因になります。

必ずアースする

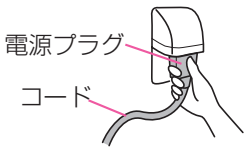
アースする

機器が故障した場合、感電の原因になります。
アースがされていない場合は、販売店または、もよりの東京ガスにご相談ください。

電源プラグは、コードを持たずに電源プラグを持って抜く

必ずおこなう

コードを持って抜くと、コードが破損し、発熱、火災、感電の原因になります。



熱媒は10年に1回程度、弊社指定の熱媒に交換する

必ずおこなう

交換せずに使用されると、防サビと凍結予防の効果がなくなり、集熱器や貯湯ユニットが破損する原因になります。
交換の際は、販売店または、もよりの東京ガスへご相談ください。

給湯以外の用途には使用しない

禁止

思わぬ事故を予防するため。

機器の点検・お手入れ・水抜きをする場合は、貯湯ユニットの電源プラグを抜いてからおこなう

必ずおこなう

機器内のお湯が高温になっているため、気をつけて作業してください。

貯湯タンクのお湯を排水する場合は、貯湯タンクのお湯を使いきるなど温度を下げてから排水する

やけど予防や排水配管保護のため。

乾電池に関する注意（取り替え機器についてのお願い）

機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼してください。
もしお客さまで旧機器の処理をされる場合、乾電池を使用している機器は、乾電池を取り外してから正規の処理をしてください。

集熱器の上に乗ったり、石などを投げて集熱器に衝撃を与えない

禁止

集熱器が破損する原因になります。

子供を機器の周囲で遊ばせない

禁止

思わぬ事故の原因になります。

必ずお守りください(安全上の注意)-2

お願い

雷が発生しはじめたら、すみやかに運転を停止し、電源プラグを電源コンセントから抜く(またはブレーカーを落とす)

雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。
雷がやんだあとは電源プラグを電源コンセントに差し込み、現在時刻を確認してください。

※冬期は、電源プラグを長時間抜くと凍結のおそれがあります。
※落雷被害に有効な火災保険へのご加入をおすすめします。

電源プラグを抜く

ぬれ手禁止

感電注意

温泉水、井戸水、地下水で使わない

水質によっては、機器内の配管に異物が付着したり、腐食して水漏れすることがあります。
この場合の修理は保証期間内でも有料になります。

機器や配管に長時間たまった水や、朝一番のお湯は飲まない、調理に使用しない、雑用水として使用する

飲用される場合は、下記の点に注意し、必ず沸騰させる

・必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。
・あついお湯が出てくるまでの水(配管にたまっている水)は、雑用水としてお使いください。
・固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用せずただちに、販売店または、もよりの東京ガスへ点検を依頼してください。

業務用の用途では使用しない

この製品は家庭用ですので、業務用の用途で使用すると製品の寿命を著しく縮めます。この場合の修理は、保証期間内でも有料になります。

断水時は運転を停止し、給湯栓を閉める

給湯栓を開けたままにしておくと、給水が復帰したときに水が流れっぱなしになります。

断水復帰後の使い始めのお湯は飲まない、調理に使用しない

断水したときは飲用や調理用に適さない水が配管にとどまることがあります。

断水復帰後は、給湯栓から充分水を流してから使用する

浴槽、洗面台はこまめに掃除する

湯あかが残っていると、水中に含まれるわずかな銅イオンと、せっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応して、青く変色することがあります。

停電すると、運転が停止します

凍結による破損を予防する(☞P9～10)

暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがありますので、必要な処置をしてください。凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

長期間使用しない場合、必要な処置をする(☞P9～10)

凍結を予防するため。

この機器の純正部品以外は使用しない

思わぬ事故の原因になります。

機器のまわりはきれいにしておく

まわりが雑草、木くず、箱などで雑然としていると、機器の内部にゴキブリが侵入したりクモの巣がはったりして、機器の損傷や火災の原因になることがあります。

植木を植えるときや増改築時には、集熱器が日陰にならないようにする

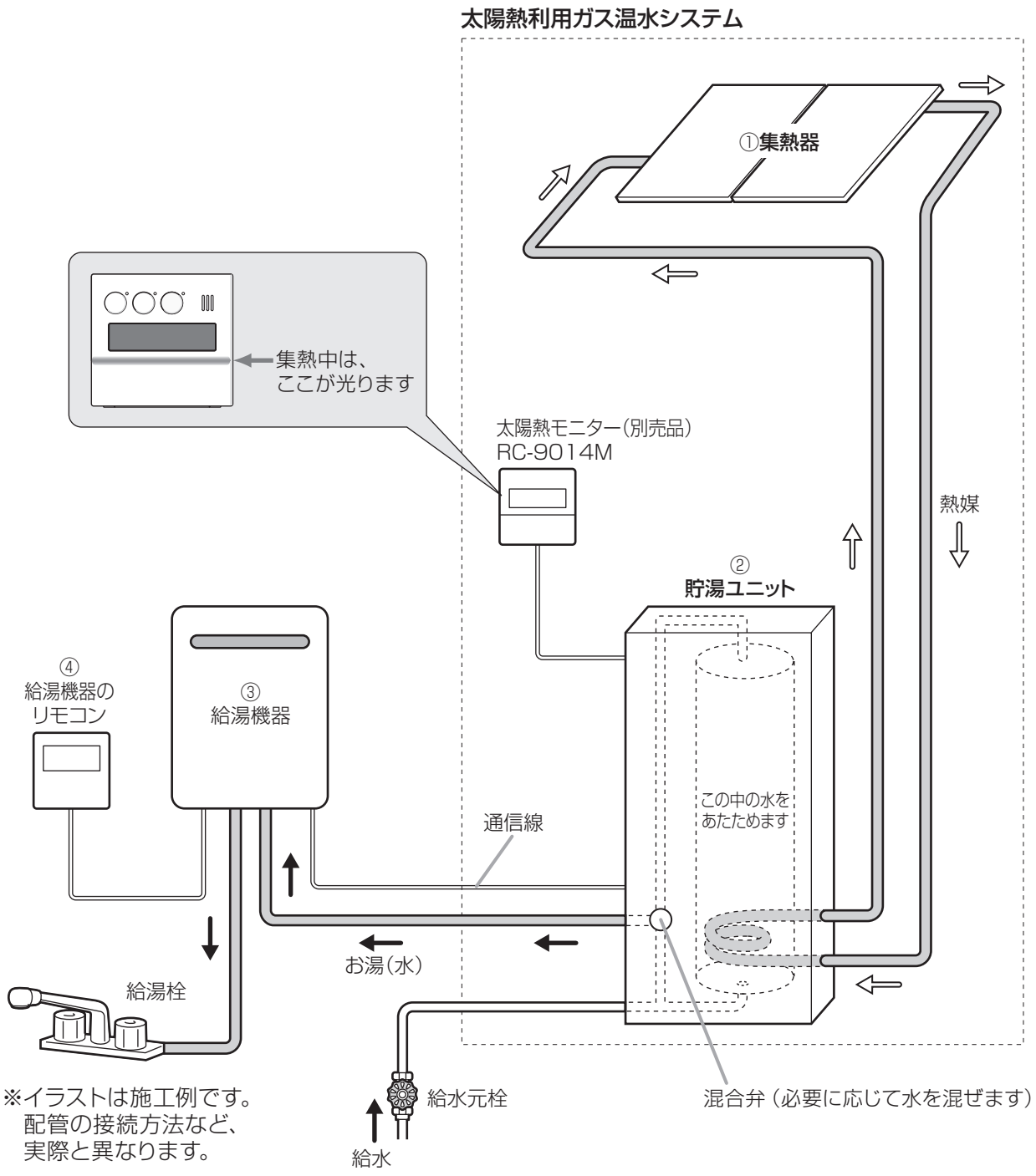
季節により陰の長さ・位置が変わることも考慮してください。集熱器が日陰になると集熱量が少なくなり、効率が悪くなります。

システム図

太陽熱を集熱して、お湯を沸かします

集熱器(①)で太陽熱を吸収し、あたためられた熱媒の熱を利用して貯湯ユニット(②)内のお湯(水)をあたためます。

貯湯ユニット(②)のお湯を、給湯機器(③)へ供給します



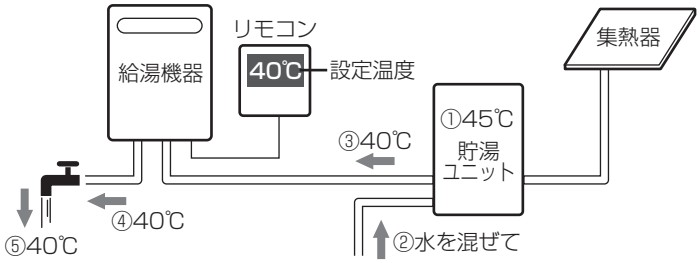
お湯の温度はこのようになります(しくみ)

「設定温度=40℃　貯湯ユニットで沸いているお湯の温度=32℃または45℃」の例で説明します。

給湯機器のリモコンの運転スイッチ「入」の場合

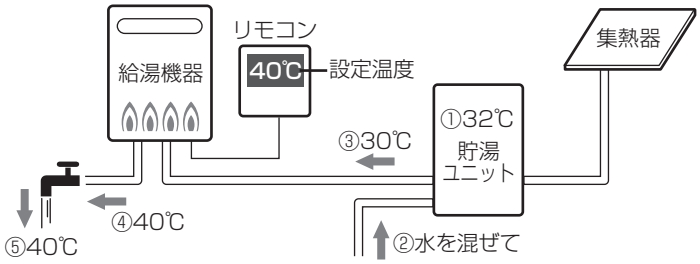
■貯湯ユニットで沸いているお湯の温度が、設定温度より高いとき

貯湯ユニットで水を混ぜ、設定温度にしてからお湯を出します。
(給湯機器で沸かしません)



■貯湯ユニットで沸いているお湯の温度が、設定温度より低いとき

貯湯ユニットで水を混ぜ(できるだけ安定したお湯を出すため)、給湯機器で設定温度まで沸かしてからお湯を出します。

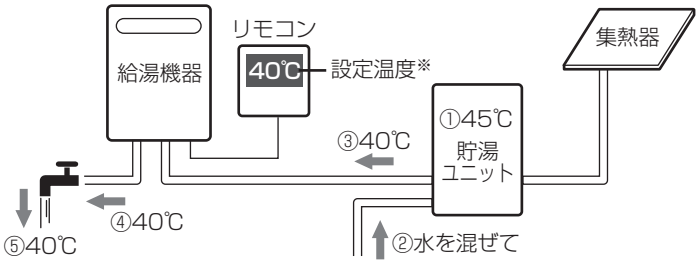


給湯機器のリモコンの運転スイッチ「切」の場合

貯湯ユニットで沸いているお湯の温度が、設定温度※より高いとき

＊貯湯ユニットで水を混ぜ、設定温度※にしてからお湯を出します。
＊設定温度を50℃以上にしていた場合は、安全のため、48℃にしてお湯を出します。

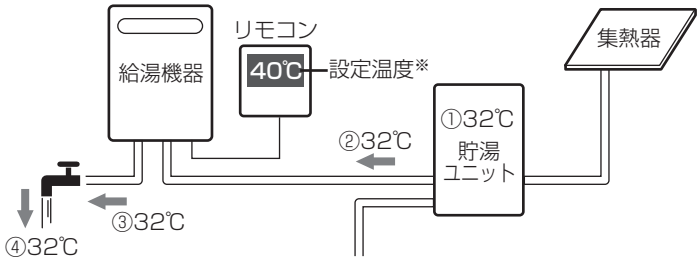
※運転スイッチを切る前の設定温度です。
運転スイッチ「切」でお湯を出したとき、温度表示が出ないリモコンがあります。



貯湯ユニットで沸いているお湯の温度が、設定温度※より低いとき

＊貯湯ユニットで沸いているお湯の温度のまま、お湯を出します。
＊設定温度を50℃以上にしていた場合は、安全のため、48℃にしてお湯を出します。

※運転スイッチを切る前の設定温度です。
運転スイッチ「切」でお湯を出したとき、温度表示が出ないリモコンがあります。



リモコン表示について

■ 右のような表示が出るリモコンが取り付けられている場合は、太陽熱利用ガス温水システムや給湯機器の状態をリモコンで確認することができます。

※別売品の太陽熱モニターRC-9014Mを設置している場合は、利用率メーター・太陽マークは表示しません。

利用率メーター・太陽マーク

（表示例）　（表示例）

■ 下記は表示例です。実際の運転のときは、お使いのリモコンの種類や運転の状態によって異なる表示をします。

※その他の表示については給湯機器の取扱説明書をご覧ください。

※★の項目については、運転スイッチ「切」時でもお湯を使うと表示します。

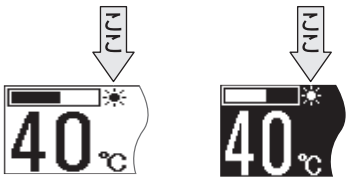
時計表示
（例：10時15分）

故障表示
不具合が生じたとき故障表示します。（☞P15）

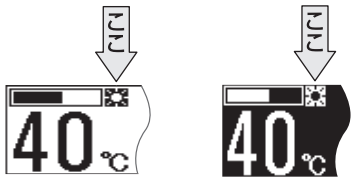
★給湯温度表示
（例：40℃）

★太陽マーク

●貯湯ユニットで沸いているお湯の温度が設定温度より低いとき



●貯湯ユニットで沸いているお湯の温度が設定温度より高いとき



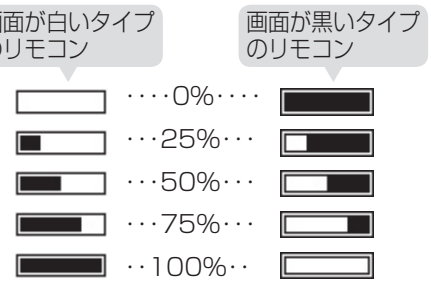
このときお湯を使っても、給湯機器でお湯を沸かしません。

＊断水などで貯湯ユニットが正常に使用できない場合は、太陽マークは消灯します。
＊リモコンの種類によっては、太陽マークの位置が異なる場合があります。

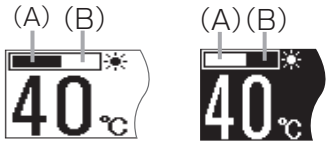
★利用率メーター

●貯湯ユニットで沸いているお湯の利用率を5段階で表示します（状況に応じて、表示が変わります）

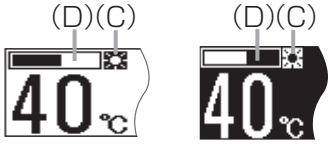
＊設定温度を変えた場合、表示が変わるのに少し時間がかかるため（約2秒）、表示が変わるのを確かめながらゆっくりと設定温度を変えてください。
＊60℃以上の高温に設定した場合は、利用率メーターが「高温」表示に変わります。



＜表示例①＞
貯湯ユニットで沸いているお湯を50%（A）利用し、残りの50%（B）を給湯機器で沸かして、40℃のお湯を出せる状態を表します。



＜表示例②＞
運転スイッチ「切」でお湯を出すと、太陽マークが反転表示し（C）、給湯温度を表示します。運転スイッチ「切」では給湯機器で沸かさない分がある（D）ため、この例の場合では40℃より低い温度のお湯が出ます。



使いかた

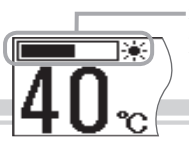
上手に使ってさらに省エネ

通常の使用方法でも省エネを図れますが、さらに効果を上げたい場合は、下記の例をご参考にお試しください。

使いかた **運転スイッチ「切」でお湯を出してみて、その温度で不都合がなければそのまま使う。**

＊運転スイッチ「切」では、貯湯ユニットで沸いたお湯だけが出るので、給湯機器で沸かさずにお湯を使うことができます。
＊冬期など、貯湯ユニットで充分にお湯が沸いていない状態でも、貯湯ユニットに貯まっているお湯（水）は、普通の水道水より水温が高くなっています。

●「利用率メーター」と「太陽マーク」が出るリモコンをお使いの場合●



（表示例）

使いかた **設定温度を60℃以上にしたときに、太陽マークが反転する場合は、追いだきせずに、貯湯ユニットで沸いているお湯を足し湯する。**

このような場合は貯湯ユニットで充分にお湯が沸いているため、給湯機器で沸かさずにすみます。

使いかた **利用率メーターが100%になるまでリモコンの設定温度を調節してからお湯を使う。**
※設定温度の調節は、一度リモコンを「入」にしてからおこなってください。

＊運転スイッチ「入」にしても、給湯機器で沸かさずにお湯を使うことができます。
＊この方法を利用して、貯湯ユニットで沸いているお湯の温度を確認することができます。（太陽マークが反転した時の設定温度が、ほぼ貯湯ユニットで沸いているお湯の温度です）

使いかた **おふろの自動お湯はり開始後、現在のふろ設定温度から少しずつ低く調節（現在のふろ温度−5℃くらいまで）してみて、利用率メーターが100%になる場合は、その設定温度のまま自動お湯はりを続ける。そして自動お湯はりの完了後、希望の温度に設定変更し、追いだきする。**

おふろの自動お湯はりはお湯の使用量が多いため、通常の自動お湯はりよりも、効果的です。（この方法では通常の自動お湯はりより時間がかかります）

使いかた **お湯をたびたび出したり止めたりする場合、利用率メーターが75%以上を表示をしていれば、運転スイッチ「切」にしてお湯を使う。**

運転スイッチ「入」では、給湯栓の開閉のたびに給湯機器が作動するため燃料代・電気代がかかりますが、運転スイッチ「切」では、給湯機器は作動しないのでその分節約できます。（この方法ではリモコンの設定温度よりもお湯の温度は少し低くなります）

●「利用率メーター」と「太陽マーク」が出ないリモコンをお使いの場合●

使いかた **運転スイッチ「入」でお湯を出した場合、燃焼ランプ（燃焼表示）が点灯するときは、燃焼ランプ（燃焼表示）が消灯する温度まで設定温度を下げてみて、その温度で不都合がなければそのまま使う。**

燃焼ランプ（燃焼表示）が消灯しているときは、給湯機器でお湯を沸かさず、貯湯ユニットで沸いているお湯だけを使うことができます。

凍結による破損を予防する-1

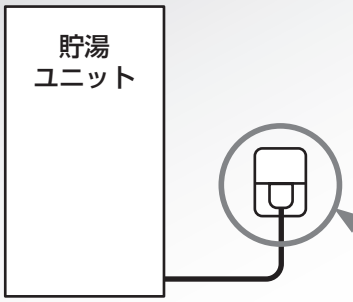
お願い	凍結による破損を予防する	＊暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがありますので、以下をお読みいただき、必要な処置をしてください。 ＊凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

通常の寒さのとき
（右の気象条件ほど厳しくないとき）
→ **処置1** をする

●低温注意報が発令されたとき
●外気温が極端に低いとき（－10℃以下）
●－10℃より高くても風があるとき
→ **処置1＋2** または **処置3** をする
※上記の気象条件の場合は、処置1のみでは凍結予防できません

長期間使用しないとき
→ **処置3** をする

処置 1 凍結予防ヒーターによる方法



貯湯ユニットの電源プラグを入れておくと、
凍結予防ヒーターで貯湯ユニット内を自動的に凍結予防します

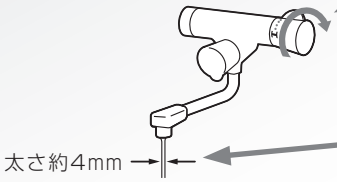
給水・給湯配管や、給水元栓および排水配管などの凍結は予防できません。
必ず保温材または電気ヒーターを巻くなどの地域に応じた処置をしてください。
（わからないときは、販売店に確認してください）

電源プラグを抜かない

処置 2 通水による方法

1 給湯機器のリモコンを運転スイッチ「切」にする

2 サーモスタット式混合水栓やシングルレバー式混合水栓の場合は、最高温度側にする



3 給湯栓を開き、少量の水を流したままにする

少量の水とは･･･1分間に約400cc、太さ約4mm

4 約30分後、流れる量を確認する

流量が不安定になっている場合があります

＊機器だけでなく、給水・給湯配管、給水元栓なども同時に凍結予防できます。
＊サーモスタット式混合水栓やシングルレバー式混合水栓の場合、再使用時の温度設定にご注意ください。
やけど予防のため。
＊この処置をしても凍結するおそれのある場合には、P10の手順で水抜きをおこなってください。

凍結して水が出ないとき

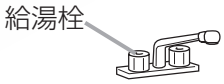
1. 給水元栓を閉める。
2. 給湯機器のリモコンの運転スイッチを「切」にし、給湯栓を開ける。
3. ときどき給水元栓を開け、水が出ることを確認する。
4. 水が出るようになっても、機器や配管から水漏れがないかよく確認のうえ、使用してください。

凍結した場合は、そのままでは絶対に使用しないでください。機器の故障の原因となります。

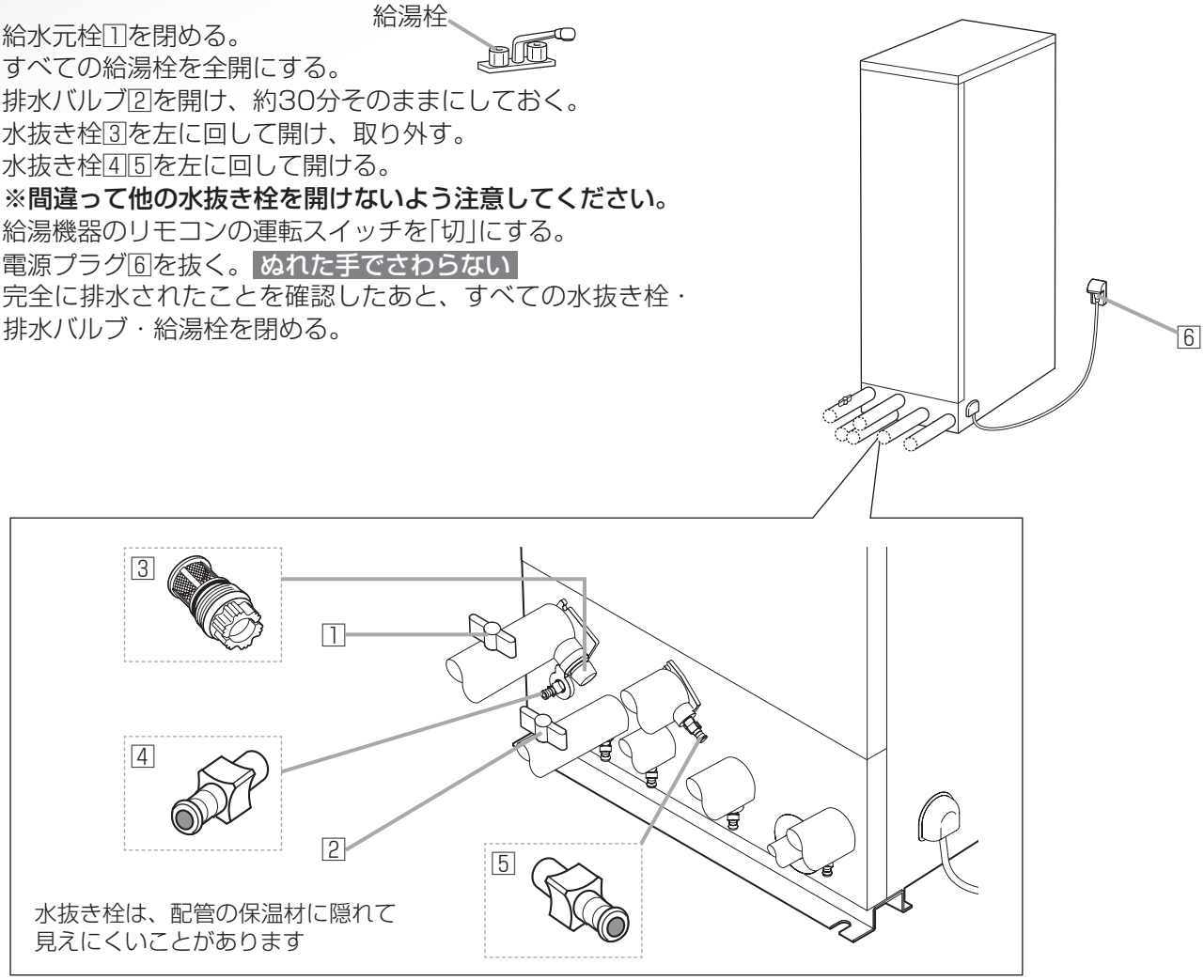
凍結による破損を予防する-2

処置 3 水抜きによる方法

⚠注意	❗	貯湯ユニットのお湯を排水する場合は、貯湯ユニットのお湯を使いきるなど温度を下げてから排水する
やけど予防や排水配管の保護のため。		



1. 給水元栓1を閉める。
2. すべての給湯栓を全開にする。
3. 排水バルブ2を開け、約30分そのままにしておく。
4. 水抜き栓3を左に回して開け、取り外す。
5. 水抜き栓4 5を左に回して開ける。
   ※間違って他の水抜き栓を開けないよう注意してください。
6. 給湯機器のリモコンの運転スイッチを「切」にする。
7. 電源プラグ6を抜く。 ぬれた手でさわらない
8. 完全に排水されたことを確認したあと、すべての水抜き栓・排水バルブ・給湯栓を閉める。



再使用のとき

1. すべての水抜き栓、排水バルブ、給湯栓が閉まっていることを確認する。
2. 給水元栓を開け、電源プラグをコンセントに差し込む。
3. 2の操作から約30分後、給湯栓を開けて水が出ることを確認する。

※水の出はじめに配管内に空気が混じって異音がしたり、流量が安定しない場合がありますが、給湯栓を数回開閉してください。しばらく続けると正常に水が出てきます。

日常の点検・お手入れのしかた-1

⚠警告		【集熱器が傾斜のある高い屋根の上などに設置されている場合】 お客さまご自身で屋根に上って、点検・お手入れ・除雪などをおこなわない
屋根からの転落事故につながるおそれがあります。必ず販売店にご連絡ください。		
⚠注意		機器の点検・お手入れをする場合、貯湯ユニットの電源プラグを抜いてからおこなう
機器内のお湯が高温になっているため、気をつけて作業してください。		
⚠注意		貯湯ユニットのお湯を排水する場合は、貯湯ユニットのお湯を使いきるなど温度を下げてから排水する
やけど予防や排水配管の保護のため。		

点検(定期的に)

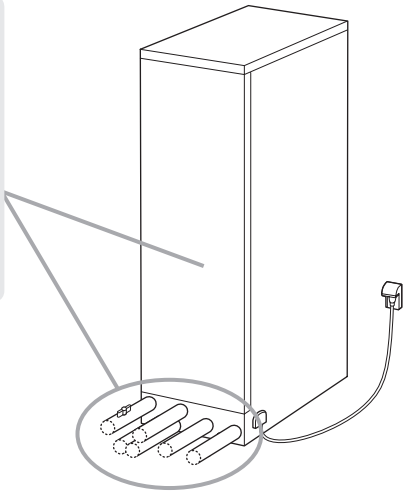
● 貯湯ユニット ●

チェック **＊機器外装に異常な変色はないか？**
＊機器外装の下部周辺などにサビや穴開きはないか？
＊運転中に機器から異常音が聞こえないか？
＊機器・配管から水漏れはないか？

➡ ＜現象があった場合＞
1. 貯湯ユニットの電源プラグを抜く。
2. 給水元栓を閉め、使用しない。
3. 販売店または、もよりの東京ガスへ連絡する。

チェック **貯湯ユニットのまわりに灯油・ガスボンベなど、燃えやすい物を置いていないか？**

➡ 燃えやすい物を置かない。



点検(1年に1回程度)

● 集熱器 ●

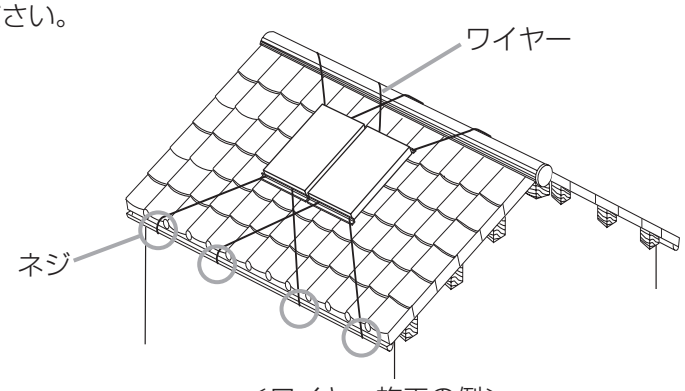
台風の前後や地震後は、点検を販売店に依頼してください。

チェック **集熱器を固定している金具やネジ、ワイヤーにゆるみや外れがないか？**

➡ ゆるみや外れがある場合は、販売店または、もよりの東京ガスへ連絡する。

チェック **集熱器のパネル・配管から水漏れはないか？**

➡ 水漏れがある場合は、販売店または、もよりの東京ガスへ連絡する。



＜ワイヤー施工の例＞

必要なとき

日常の点検・お手入れのしかた-2

お手入れ(定期的に)

● 貯湯ユニット ●

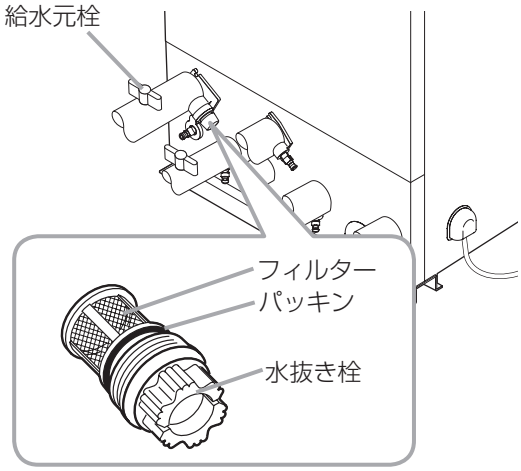
＊貯湯ユニットの外装の汚れは、ぬれた布で落としたあと充分水気をふき取ってください。
特に汚れのひどいときには、中性洗剤を使用してください。
＊海に近く潮風が当たりやすい地域の場合、機器に潮風が当たり、貯湯ユニットおよび配管接続部にサビが発生する場合があります。
サビがひどい場合は、貯湯ユニット内部への影響も考えられますので、点検(有料)をおすすめします。

● 水抜き栓のフィルター ●

水抜き栓のフィルターにゴミなどが詰まると、お湯の出が悪くなったりお湯にならない場合がありますので、以下の方法で掃除をしてください。
※機器内のお湯が高温になっているため、気をつけて作業してください。
※水抜き栓からお湯または水が出ますので、機器の下に容器などを置いて排水を受けてください。

1. 給水元栓を閉める。
2. すべての給湯栓を開ける。
3. 水抜き栓(フィルター付)を左に回して外す。(※1)
4. フィルター部分を歯ブラシなどで水洗いする。(※2)
5. 元どおりに水抜き栓(フィルター付)を取り付ける。
6. すべての給湯栓を閉める。
7. 給水元栓を開け、水抜き栓の周囲に水漏れがないことを確認する。

(※1) このとき水(湯)が出るので注意してください。
(※2) 水抜き栓からフィルターが外れた場合は、水抜き栓とフィルターの間のパッキンをなくさないように注意してください。

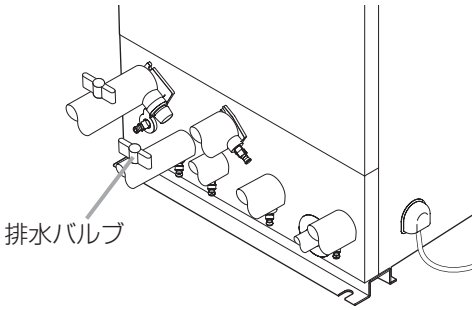


お手入れ(1年に2〜3回程度)

● 貯湯ユニットの貯湯タンク ●

水道水に混じっていた泥やゴミなどが貯湯タンクに沈殿していることがあるため、貯湯タンクの水を入れ替え、沈殿物を流し出してください。

1. 電源プラグを抜く。ぬれた手でさわらない
2. 排水バルブを90度回して開ける。
3. 2の操作から約1分後、排水バルブを元の位置まで閉める。
4. 電源プラグを電源コンセントに差し込む。



熱媒の交換(有料)について

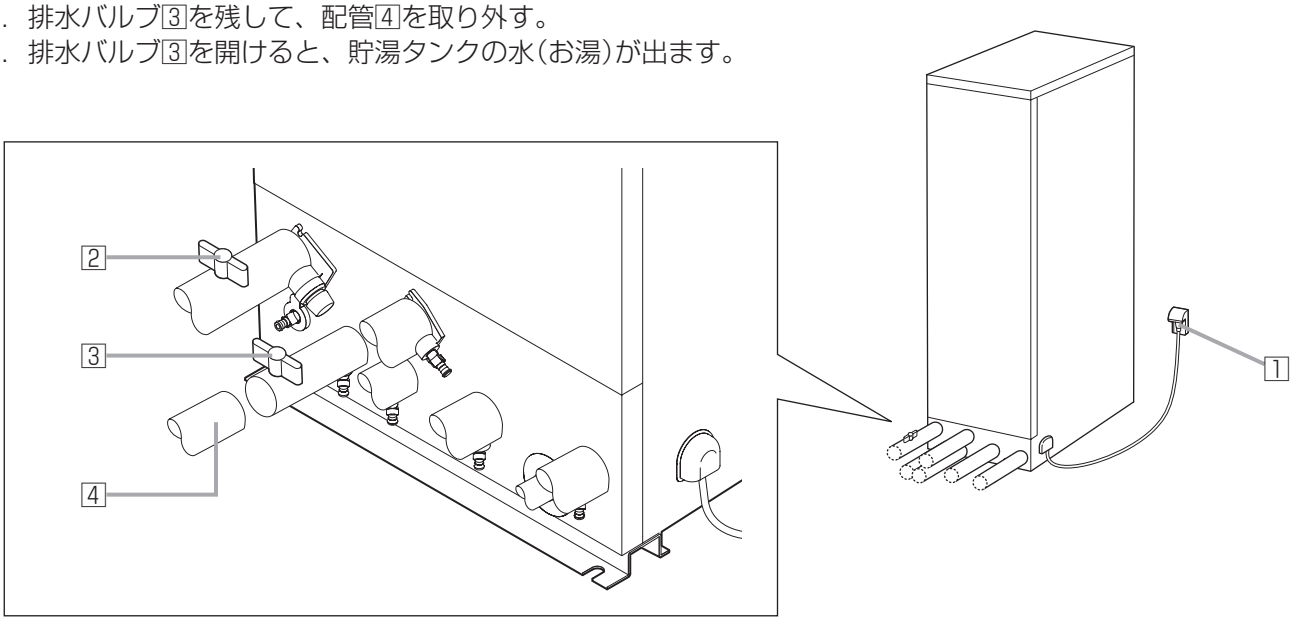
熱媒は、10年に1回程度交換が必要です。販売店または、もよりの東京ガスに依頼してください。

災害時などに貯湯タンクから水(お湯)を取り出す

⚠注意		貯湯タンクのお湯が高温になっているので、気をつけて作業する
やけど予防のため。		

断水時や災害時に、貯湯タンクの水(お湯)を取り出して雑用水として利用することができます。

1. 電源プラグ1を抜く。
2. 給水元栓2を閉める。
3. 排水バルブ3を残して、配管4を取り外す。
4. 排水バルブ3を開けると、貯湯タンクの水(お湯)が出ます。



※再使用時は、上記の逆の手順をおこなったあと、P10「再使用のとき」の操作をおこなってから使用してください。

故障・異常かな？と思ったら

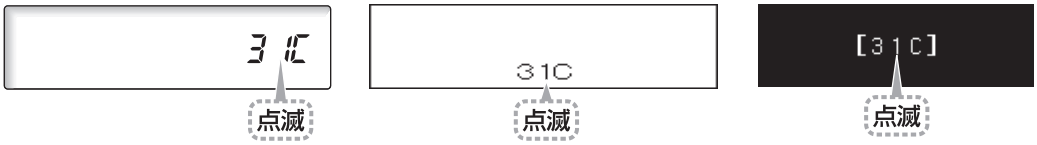
太陽熱利用ガス温水システムに関する内容を記載しています。
給湯機器の取扱説明書の内容も併せてご覧ください。

	こんなときは	こんなことが考えられます	処置
お湯・シャワー	給湯栓を開いても お湯が出てこない お湯にならない	断水している。	復旧を待つ。
		水抜き栓のフィルターにゴミなどが詰まっている。	☞P12
		配管が凍結している。	気温の上昇により自然に解凍するまで待つ。
	給湯栓から出るお湯の量が少ない	貯湯タンクにお湯が貯まっていない場合、出湯量が少なくなることがあります。	異常ではありません。
	運転スイッチ「切」なのに お湯が出る	貯湯タンクのお湯を無駄なく使えるよう、運転スイッチ「切」でも貯湯タンクにお湯があればお湯を出すしくみになっています。	異常ではありません。
	お湯が出るまでに時間がかかる お湯の温度が安定するまで時間がかかる 設定温度を変えても お湯の温度がなかなか変わらない	貯湯ユニットと給湯機器の設置場所が離れていると、このような現象が起こる場合があります。	異常ではありません。
給湯機器のリモコン	太陽マーク・利用率メーターが消灯している	太陽マーク・利用率メーターを表示しないリモコンがあります。	異常ではありません。
		別売品の太陽熱モニターRC-9014Mを設置している場合、太陽マーク·利用率メーターを表示しません。	異常ではありません。
	お湯を使ったり止めたりするたびに、利用率メーターが変わる	安定した温度のお湯を供給するために、貯湯ユニットで水を混ぜた場合、利用率メーターが急に変わることがあります。	異常ではありません。
集熱	夜なのに集熱している （ポンプの回転音がする）	貯湯タンク下部の温度が集熱器の温度より低くなると自動的に集熱します。 お湯を使用して貯湯タンク下部の温度が下がると、日射がない場合でも集熱することがあります。	異常ではありません。
	日射が充分あるのに 集熱しない	集熱器内が沸騰するような高温状態が続くと、安全のためまたは機器保護のため集熱を停止させるしくみになっています。（停電すると集熱が停止し、停電復帰すると集熱を再開しますが、停電復帰時に集熱器内が高温になっていると、集熱は再開しません）	集熱器内の温度が低くなると、集熱します。
その他	お湯が充分沸いている（天気が良く、充分に集熱できている）のに、お湯を出すと給湯機器が燃焼する	できるだけ安定したお湯を出すために、給湯機器が燃焼する場合があります。	異常ではありません。
	排水配管先からお湯（水）が少しの間出ることがある	貯湯タンク内の水が沸き始めると水の体積が大きくなり、その分が排水配管先から出ますが、沸き上がると止まります。	異常ではありません。
	時々集熱器のガラスがくもる	寒い日に窓ガラスがくもるように、集熱板の温度と外気温の差で集熱器のガラスがくもることがあります。	集熱するとくもりが消える場合は、異常ではありません。 常時くもっている場合は水漏れの可能性があるので、販売店または、もよりの東京ガスに連絡を。

故障表示が出ているときは

不具合が生じたとき、リモコンに故障表示が点滅します。
（リモコンにより運転ランプが点滅するものがあります）

（表示例）



故障表示	状 態	処 置
31C	断水で水が通っていない。	断水復帰後、故障表示が消灯すれば正常です。
	給水元栓が閉まっている。	給水元栓を開け、故障表示が消灯すれば正常です。
04C 32C 33C 34C 56C	＊太陽熱利用ガス温水システムが使用できません。（貯湯ユニットに残っているお湯も使用できません） ＊給湯機器は使用できる場合があります。	太陽熱利用ガス温水システムに不具合が生じているので、販売店または、もよりの東京ガスにご連絡ください。
上記以外の3ケタ目が「C」の故障表示	＊表示が出た段階で貯湯ユニットに残っているお湯は使用できます。貯湯ユニットに残っているお湯がなくなれば、水になります。 ＊給湯機器は使用できます。	
上記以外の故障表示	＊給湯機器側の異常の可能性があります。	給湯機器の取扱説明書の「故障・異常かな？と思ったら」をお読みいただき、適切な処置をしてください。

● 以下の場合は、販売店または、もよりの東京ガスにご連絡ください ●

＊たびたび太陽マークが消灯するとき
＊運転ランプが点滅するとき
＊その他、わからないとき

アフターサービスについて

サービスを依頼されるとき

P14～15の「故障・異常かな？と思ったら」を調べていただき、なお異常のあるときは、販売店または、もよりの東京ガスにご連絡ください。

● 連絡していただきたい内容 ●

品名 ‥‥‥‥‥‥‥‥ 貯湯ユニット：TF-C11A　集熱器：SCQ-201, SCQ-101
お買い上げ日 ‥‥‥‥ 保証書をご覧ください
異常の状況 ‥‥‥‥‥ 故障表示など、できるだけくわしく
ご住所・ご氏名・電話番号
訪問ご希望日

保証について

この取扱説明書には保証書がついています。
必ず販売店名・お引き渡し日などが記入されているのを確認してください。
保証書の内容をよくお読みになったあとは、大切に保管しておいてください。

無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打切後10年です。
なお、補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。

移設される場合

転居などで本システムを移設されるときは、貯湯ユニット（銘板）に表示してある電源（電圧・周波数）が移設先と合っているか必ずご確認ください。
不明のときは、移設先の販売店または、もよりの東京ガスにご相談ください。

集熱器の移設も必要ですので、移設先の屋根などに集熱器が設置できるかどうかご確認ください。

その他

BL認定品には、貯湯ユニットの前面にBLマークを表示しています。
BL認定品は、「優良住宅部品」「瑕疵保証・賠償責任保険付」です。
（財）ベターリビングお客様相談室の電話番号は「03-5211-0680」です。

主な仕様

本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。

貯湯ユニット

品名		TF-C11A
型式名		SS-Q2001
水圧	使用水圧〈MPa〉	0.2～0.75(2.0～7.5kgf/cm^2)
	作動水圧〈kPa〉	10(0.1kgf/cm^2)
最低作動流量〈L/分〉		1.6
外形寸法〈mm〉		高さ1900×幅650×奥行450
質量〈kg〉		65(満水時：285)
タンク容量〈L〉		200
接続口径	給湯	R3/4
	給水	R3/4
	集熱回路	R1/2
	排水	R1/2
	オーバーフロー	呼び径13
電気関係	電源	AC100V(50/60Hz)
	消費電力(50/60Hz)〈W〉	80/115(集熱運転時)
		凍結予防ヒーター 84
	待機時消費電力〈W〉	1.7W(別売品の太陽熱モニターRC-9014Mを設置している場合：2.4W)

集熱器(1枚当たり)

品名	SCQ-201	SCQ-101
型式名	SCQ-201	SCQ-101
外形寸法〈mm〉	高さ67×幅1032×奥行2026	高さ67×幅1032×奥行1032
質量(本体)〈kg〉	30(満水時 30.8)	18(満水時 18.6)
集熱器総面積〈m^2〉	2.09	1.06
集熱器保有水量〈L〉	0.8	0.6
配管接続口径〈mm〉	φ20.7	φ20.7

メモ

メモ

保 証 書

太陽熱利用ガス温水システム

	システム名 UF-4203, UF-6203		システム名 UF-4203H	
	貯湯ユニット	集熱器	貯湯ユニット	集熱器
品名	TF-C11A	SCQ-201	TF-C11A	SCQ-101
型式名	SS-Q2001	SCQ-201	SS-Q2001	SCQ-101

太陽熱モニター(別売品)

品名　RC-9014M

上記本体をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書は、東京ガス供給区域内において、都市ガスにてご使用になる場合に、本書記載内容で無料修理をお約束するものです。

記

1. 保証期間は、お引き渡し日から2年間とし、本体(太陽熱モニター含む)を対象にします。なお、下記部品については、別途以下の年数を保証いたします。
   ポンプ……3年
   電装基板・太陽熱モニター(電装基板に起因する故障のみ)・貯湯タンク・集熱器の集熱体……5年
2. 万一故障の場合は、お買い上げの販売店または、もよりの東京ガスへお申し出ください。原則として、出張修理いたします。
3. サービス員がお伺いした時に、本証書をご提示下さい。
4. 保証期間内においても、次の場合は有償修理といたします。
   (1) 住宅用途以外でご使用になる場合の不具合
   (2) 取扱説明書等の記載事項によらないでご使用した場合の不具合
   (3) 器具を調整、改造された場合の不具合(但し、当社都合の場合はのぞきます)
   (4) お買い上げ後、取付場所の移動、落下等による不具合
   (5) 建築躯体の変形等器具本体以外に起因する当該器具の不具合、塗装の色あせ等の経年変化またはご使用に伴う摩耗等により生じる外観上の現象
   (6) 強い腐食性の空気環境に起因する不具合
   (7) 犬、猫、ねずみ、昆虫等の動物の行為に起因する不具合
   (8) 火災や凍結、落雷、地震、噴火、洪水、津波等の天変地異または戦争、暴動等の破壊行為による不具合
   (9) 電気、給水の供給トラブル等に起因する不具合
   (10) 指定規格以外のガス、電気または熱媒等をご使用したことに起因する不具合
   (11) 給水・給湯配管などの錆び等異物流入に起因する不具合
   (12) 温泉水、井戸水等を給水したことに起因する不具合
   (13) 本保証書を紛失された場合
5. 無料修理やアフターサービス等についてご不明な場合はお買い上げの販売店または、もよりの東京ガスへお問い合わせ下さい。

保証履行者　**東京ガス株式会社**　〒105−8527　東京都港区海岸１丁目５番20号

保証責任者　**株式会社ノーリツ**　〒650−0033　神戸市中央区江戸町93番地

■ お買い上げ日および販売店名

お買い上げ日	平成　　年　　月　　日		
販売店		扱者印	
住所			
電話番号			

■ 修理記録

この本体の修理記録用紙は、本体の内側にあります。

■ お客さまへ

1. この保証書をお受け取りになる時に販売年月日、販売店、扱者印が記入してあることを確認してください。
2. 本証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保存してください。
3. 無料修理期間経過後の故障修理等につきましては「アフターサービス」の項をご覧ください。
4. この保証書によって保証書を発行している者(保証履行者・保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。

◆この取扱説明書は再生紙を使用しています◆